

水道環境課

会計区分	01	一般会計		令和 3 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	10010000	水道環境課・環境係			
大事業 C D	02	(目標)		-				中事業 C D	02	(施策)		-				
		(政策)								(主要な取り組み)						
小事業 C D	01	自然環境保全事業					事業年度	R03 ~ R12		成果目標	■ 成果目標がある		成果指標	特定外来生物の駆除（防除）の実施		
款項目	04	衛生費	01	保健衛生費	06	環境衛生総務費	小事業区分	新規・継続			□ 成果目標がない		目標値	4	目標年度	令和 2年度

(単位：千円)

	R O 3 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(02 年度) 当初予算額	31年度 決算額
○ 経 費 計	4, 624	特定外来生物であるアルゼンチンアリの生息が確認されている酒倉（池端・中組・茶屋・雲埋北）、取組（取組第4）の住民・事業所に対して防除剤を配布するとともに、アルゼンチンアリの生息状況等の調査を委託にて実施する。	5, 952	2, 528
1 報酬				
2 〜4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費	1, 214		1, 321	889
1 消耗品費	1, 214		1, 289	867
2 燃料費				
3 食糧費			32	22
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費				
12 委託料	3, 410		4, 631	1, 639
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交				
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	4, 624	基準額・補助率・歳入科目コード等	5, 952	
1 国庫支出金				
2 県支出金	4, 624	清流の国ぎふ森林・環境基金事業補助金	5, 920	
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源			32	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）	
【★ 7次総 4101】（環境・景観）「自然環境を保全するための意識啓発及び活動の推進」	
町内で特定外来生物に指定されているオオキンケイギクの繁殖と、アルゼンチンアリの生息が確認されており、地域固有の自然資源や生態系を脅かしている。周辺の自然環境に興味・関心を持ち、町固有の資源や景観を守る意識を高めていく。 自然環境が坂祝町にもたらす多面的な効果を理解し、自然環境を守るための意識啓発や環境保全活動を進める。	
事業の概要	
オオキンケイギク、アルゼンチンアリをはじめとする特定外来生物の駆除により、地域固有の在来種の保全を進める。	
事業の実績	
令和3年度 オオキンケイギク駆除作戦 参加者約50人 / 3年度目標 100人 令和2年度 オオキンケイギク駆除作戦 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 令和元年度 オオキンケイギク駆除作戦 参加者約270人 / 元年度目標 250人 平成30年度 オオキンケイギク駆除作戦 参加者約240人 / 30年度目標 250人 平成29年度 オオキンケイギク駆除作戦 参加者約250人 / 29年度目標 250人	
事業の成果指標	
地域住民、事業所、ボランティアと協力した特定外来生物の駆除（防除）の実施回数	事業の目標値
	単位 回/年度
	R03 年度末 4
	R04 年度末 4
	R05 年度末 4
R03 年度の到達目標（課題・改善策等）	
オオキンケイギク駆除を継続的に実施し、自然環境を守るための意識啓発や環境保全活動を進める。 アルゼンチンアリの防除を地域住民の協力のもと、継続的に実施する。	

事務事業評価の結果（1 次）	B	R03 年度の計画額	0 千円
事務事業評価の結果（2 次）	A	R03 年度の上限額	0 千円
<特記事項> アルゼンチンアリ駆除のためのベイトザイ散布を3回実施、オオキンケイギク駆除1回実施し目標値は達成できたが、オオキンケイギクについては、毎年の実績によりかなり減少してきたが、アルゼンチンアリについては、生息区域が拡大しており、今後は駆除に関する住民説明会等も検討し効果的な対策を検討したい。			

【評価】 A拡充・重点化 B計画の承認 C見直し・縮小 D整理・統合 E休止・廃止 一評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 3 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	10010000	水道環境課・環境係		
大事業 C D	02	(目標)		—				中事業 C D	11	(施策)		—			
		(政策)		—						(主要な取り組み)		—			
小事業 C D	01	生ごみ堆肥化推進事業					事業年度	R03 ~ R12		成果目標	☐ 成果目標がある		成果指標	—	
款項目	04	衛生費	02	清掃費	02	ごみ処理費	小事業区分	新規・継続	☒ 成果目標がない		目標値	—		目標年度	—

(単位：千円)													
	R O 3 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等					前年度(02年度) 当初予算額	31年度 決算額					
○ 経 費 計	178	電気式生ごみ処理機、コンポスト、枝葉粉碎機を購入した者に対して補助金の交付を行う。					115	66					
1 報酬													
2 ～4給料手当等													
5 災害補償費													
7 報償費													
8 旅費													
9 交際費													
10 需用費													
1 消耗品費													
2 燃料費													
3 食糧費													
4 印刷製本費													
5 光熱水費													
6 修繕料													
その他													
11 役務費													
12 委託料													
13 使賃料													
14 工事請負費													
15 原材料費													
16 公財購													
17 備品購入費													
18 負補交	178						115	66					
19 扶助費													
20 貸付金													
21 補てん賠													
22 償利割													
23 投資出資金													
24 積立金													
25 寄附金													
26 公課費													
27 繰出金													

○ 財 源 計	178	基準額・補助率・歳入科目コード等	115	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	178		115	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）	
【★7次総 4201】（廃棄物対策）「ごみ減量化の推進」	
可燃ごみの多くを占める生ごみの減量化に向け、電気式生ごみ処理機・コンポストの活用を促進する。また、野焼きを防止するため、伐採によって発生する樹木等を細かく粉碎する、枝葉粉碎機の活用を促進する。	
事業の概要	
電気式生ごみ処理機、コンポスト、枝葉粉碎機の購入補助を行う。 補助制度を継続してきているが、補助制度の活用が少ないため、補助制度を啓発し、積極的な補助制度の活用を促進する。	
事業の実績	
令和3年度 22件	可燃ごみ排出量 実績469g/日あたり
令和2年度 19件	可燃ごみ排出量 実績453g/日あたり
令和元年度 6件	可燃ごみ排出量 実績433g/日あたり
平成30年度 4件	可燃ごみ排出量 実績417g/日あたり
平成29年度 2件	可燃ごみ排出量 実績414g/日あたり
平成28年度 4件	可燃ごみ排出量 実績408g/日あたり
平成27年度 8件	可燃ごみ排出量 実績408g/日あたり
事業の成果指標	事業の目標値
	単位
	R03 年度末
	R04 年度末
	R05 年度末
R03年度の到達目標（課題・改善策等）	
継続的に補助制度の活用促進を図る。	

事務事業評価の結果（1次）	B	R03年度の計画額	0	千円
事務事業評価の結果（2次）	B	R03年度の上限額	0	千円
<特記事項> 前年比で3件補助件数が伸びたが、可燃ゴミの減量化として成果出すのは難しいが、今後も家庭廃棄物処理機器設置補助金をPRし、生ゴミ等の再利用を促進し、ごみの減量化への意識啓発を行いたい。				

【評価】 A拡充・重点化 B計画の承認 C見直し・縮小 D整理・統合 E休止・廃止 ー評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 3 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	10010000	水道環境課・環境係			
大 事 業 C D	02	(目標)		—				中事業 C D	12	(施策)		—				
		(政策)		—						(主要な取り組み)		—				
小 事 業 C D	01	分別収集促進事業					事業年度	R03 ～ R12		成果目標	☐ 成果目標がある		成果指標	—		
款 項 目	04	衛生費	02	清掃費	02	ごみ処理費	小事業区分	新規・継続			☒ 成果目標がない		目標値	—	目標年度	—

(単位：千円)

	R O 3 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(02年度) 当初予算額	31年度 決算額
○ 経 費 計	900	可燃ごみ・不燃ごみ収集所の清掃及び管理・指導を自治会で 行ってもらうため、各自治会から衛生監視員1名を委嘱し、その 者に対する報酬を支出する。	900	900
1 報酬	900		900	900
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費				
1 消耗品費				
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費				
12 委託料				
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交				
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	900	基準額・補助率・歳入科目コード等	900	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	900		900	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）			
【★7次総 4202】（廃棄物対策）「ごみの出し方に関する指導の徹底」			
分別の出来ていないごみをしっかりと分別された状態にする。 収集日と時間を守り、ごみ袋に名前と電話番号の記入を推進する。			
事業の概要			
衛生監視員を委嘱し、収集場所の清掃及び管理・指導を行う。 ポスターや広報紙・回覧などを通じて、ごみの出し方に関する情報やマナーを周知する。 注意を促すシールなどの活用により、ごみ出しに関するマナーの徹底を進める。			
事業の実績			
令和3年度	衛生監視員	18名	ごみ収集日一覽作成 野焼きについて広報啓発
令和2年度	衛生監視員	18名	ごみ収集日一覽作成 野焼きについて広報啓発
令和元年度	衛生監視員	18名	ごみ収集日一覽作成 野焼きについて広報啓発
平成30年度	衛生監視員	18名	ごみ収集日一覽作成 野焼きについて広報啓発
平成29年度	衛生監視員	18名	ごみ収集日一覽作成 野焼きについて広報啓発
平成28年度	衛生監視員	18名	ごみ収集日一覽作成 野焼きについて広報啓発
事業の成果指標		事業の目標値	
		単位	
		R03 年度末	
		R04 年度末	
		R05 年度末	
R03 年度の到達目標（課題・改善策等）			
分別収集により、可燃ごみの減量化及びリサイクルの推進を図り、家庭から排出されるごみの適正処理を目指す。 自治会配布などにより、ごみ処理に対し、啓発を行う。			

事務事業評価の結果（1次）	B	R03年度の計画額	0 千円
事務事業評価の結果（2次）	B	R03年度の上限額	0 千円
<特記事項> 衛生監視員による収集場所の清掃及び管理・指導により、ごみ出しに関するマナーの周知を実施している。 今後はごみ分別アプリを活用した、ごみ出しに関する情報やマナーの周知・徹底はかり、不適正排出を是正を進めたい。			

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 一評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 3 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	10010000	水道環境課・環境係		
大 事 業 C D	02	(目標)		—				中 事 業 C D	13	(施策)		—			
		(政策)		—						(主要な取り組み)		—			
小 事 業 C D	01	資源物収集事業					事業年度	R03 ~ R12	成果目標	☐ 成果目標がある		成果指標	—		
款項目	04	衛生費	02	清掃費	02	ごみ処理費	小事業区分	新規・継続		☒ 成果目標がない		目標値	—		目標年度

(単位：千円)													
	R 0 3 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等					前年度(02 年度) 当初予算額	31年度 決算額					
○ 経 費 計	3, 137	資源物 (ペットボトル・白色 (食品) トレイ・蛍光灯・水銀式					3, 128	3, 047					
1 報酬		体温計・飲料用紙パック容器・廃食用油・廃乾電池) を収集場											
2 ～4給料手当等		所にて収集する際の立会いを、町シルバー人材センターに委託											
5 災害補償費		する。											
7 報償費		また、収集した資源物を、収集場所から収集運搬する作業を、											
8 旅費		一般廃棄物収集運搬業者に委託する。											
9 交際費													
10 需用費	114						123	78					
1 消耗品費	7						9	2					
2 燃料費	107						114	76					
3 食糧費													
4 印刷製本費													
5 光熱水費													
6 修繕料													
その他													
11 役務費													
12 委託料	3, 023						3, 005	2, 969					
13 使賃料													
14 工事請負費													
15 原材料費													
16 公財購													
17 備品購入費													
18 負補交													
19 扶助費													
20 貸付金													
21 補てん賠													
22 償利割													
23 投資出資金													
24 積立金													
25 寄附金													
26 公課費													
27 繰出金													

○ 財 源 計	3, 137	基準額・補助率・歳入科目コード等	3, 128	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財	128		94	
5 一般財源	3, 009		3, 034	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）	
【★ 7 次総 4203】（廃棄物対策）「リサイクルの推進」	
循環型社会の形成のため、可能な限りリサイクルするよう啓発するとともに、リサイクルしやすい環境づくりを推進する。	
事業の概要	
資源物（ペットボトル・白色（食品）トレイ・蛍光灯・水銀式体温計・飲料用紙パック容器・廃食用油・廃乾電池）を収集しリサイクルする。 リサイクルの推進を啓発するとともに、プラスチック容器包装の収集を検討して回収量の増加を目指す。	
事業の実績	
令和3年度 町の資源物回収量 実績6.34t／ 資源物収集12回実施 令和2年度 町の資源物回収量 実績6.42t／ 資源物収集12回実施 令和元年度 町の資源物回収量 実績5.98t／ 資源物収集12回実施 収集立会を委託し、資源物の適正処理についての指導啓発を実施。 ※令和元～3年度ペットボトルの品質検査により『Aランク』の判定。	
事業の成果指標	事業の目標値
	単位
	R03 年度末
	R04 年度末
	R05 年度末
R03 年度の到達目標（課題・改善策等）	
引き続き、資源物の適正処理を指導啓発する	

事務事業評価の結果 (1 次)	—	R03 年度の計画額	0 千円
事務事業評価の結果 (2 次)	—	R03 年度の上限額	0 千円
<特記事項>			
年12回、13か所で行う資源物収集の収集所 (各自治会公民館) において、立会指導をシルバー人材センターへ委託し、資源物を出すマナーが徹底でき、リサイクルしやすい環境づくりを実施した。実績としては、下記の蛍光管、ペットボトル、トレイ、紙パック、廃食油を参照してください。			
【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 一 評価なし			

会計区分	01	一般会計		令和 3 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	10010000	水道環境課・環境係		
大事業 C D	02	(目標)		—				中事業 C D	13	(施策)		—			
		(政策)		—						(主要な取り組み)		—			
小事業 C D	02	ごみ資源化推進事業					事業年度	R03 ~ R12	成果目標	☐ 成果目標がある		成果指標	—		
款項目	04	衛生費	02	清掃費	02	ごみ処理費	小事業区分	新規・継続		☒ 成果目標がない		目標値	—		目標年度

(単位：千円)

	R O 3 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(02年度) 当初予算額	31年度 決算額
○ 経 費 計	425	資源物（新聞紙・雑誌・チラシ・ダンボール・牛乳パック・古着・アルミ缶）を回収した団体（子ども会等）に対して、その回収量に応じて奨励金を交付する。	475	381
1 報酬				
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費				
1 消耗品費				
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費				
12 委託料				
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費		【主要施策 4203】		
16 公財購		資源集団回収は、R2年度12件、R3年度18件の実績となっている。		
17 備品購入費		。R2年度から新型コロナウイルス感染症対策により自肅団体が		
18 負補交	425	増加しており、回収率は下がっている。そのためR3年度から新	475	381
19 扶助費		たに、希望団体については、開催日をスグール等でメール配信		
20 貸付金		を行いP Rしている。今後は、新型コロナウイルスの状況を注		
21 補てん賠		視しながら、休止団体への呼びかけを行い、資源回収実施団体		
22 償利割		を増やしたい。		
23 投資出資金		また、坂初町一般廃棄物処理基本計画に基づきプラスチック類		
24 積立金		の回収も検討し、リサイクル可能な資源物回収促進を推進し、		
25 寄附金		ごみの減量化を進めたい。		
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	425	基準額・補助率・歳入科目コード等	475
1 国庫支出金			
2 県支出金			
3 町債			
4 その他特財			
5 一般財源	425		475

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）	
【★7次総 4203】（廃棄物対策）「リサイクルの推進」	
循環型社会の構築のためには、資源の有効活用とリサイクル意識を高めることが必要であり、リサイクルできる資源物の収集量に応じて奨励金を支出するなどを行い、一層の資源物回収量の増加を図ることで、環境保全に対する町民意識の高揚につながる。	
事業の概要	
増え続けるごみの量にストップをかけるとともに、資源として有効に利用できるごみの再生利用と、資源の大切さを認識していただくために、資源として再利用できるもののうち、資源物（新聞紙・雑誌・チラシ・ダンボール・牛乳パック・古着・アルミ缶）を集団回収している団体に対し、その回収量に応じて奨励金を交付する。 回覧等で収集日などを周知することで、回収量を増やす。	
事業の実績	
令和3年度	資源回収の収集量 22 t
令和2年度	資源回収の収集量 14 t
令和元年度	資源回収の収集量 77 t
平成30年度	資源回収の収集量 85 t
平成29年度	資源回収の収集量 96 t
平成28年度	資源回収の収集量 96 t
平成27年度	資源回収の収集量 134 t
事業の成果指標	事業の目標値
	単位
	R03 年度末
	R04 年度末
	R05 年度末
R03年度の到達目標（課題・改善策等）	
資源集団回収による、回収量が減少傾向にある一方、民間企業等において資源物の回収できる環境が増加しているが、資源の適正な処理につながるものとなっていない。今後、資源の適正な処理について啓発していく。	

事務事業評価の結果（1次）	A	R03年度の計画額	0 千円
事務事業評価の結果（2次）	A	R03年度の上限額	0 千円
<特記事項>			

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 一評価なし

会計区分	01	一般会計	令和 3 年度 事務事業調書							事業主体	10010000	水道環境課・環境係		
大事業 C D	02	(目標)	—					中事業 C D	14	(施策)	—			
		(政策)	—							(主要な取り組み)	—			
小事業 C D	01	環境教育事業					事業年度	R03 ~ R12	成果目標	☐ 成果目標がある	成果指標	—		
款項目	04	衛生費	01	保健衛生費	06	環境衛生総務費	小事業区分	新規・継続		☒ 成果目標がない	目標値	—	目標年度	—

(単位：千円)

	R O 3 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(02 年度) 当初予算額	31年度 決算額
○ 経 費 計	45	ごみ処理の現状を知ってもらい、ごみの分別・減量化及びリサイクルを推進するため、夏休みに、町中央公民館主催行事として、ささゆりクリーンパークの見学、ささゆりクリーンパークから講師を招いての講座を実施する。	45	24
1 報酬				
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費				
1 消耗品費				
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費				
12 委託料				
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交	45		45	24
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	45	基準額・補助率・歳入科目コード等	45
1 国庫支出金			
2 県支出金			
3 町債			
4 その他特財	9		9
5 一般財源	36		36

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）	
【★ 7 次総 4204】（廃棄物対策）「環境教育の推進」	
多くの住民にささゆりクリーンパークを見学してもらい、ごみ処理の現状を知ってもらうとともに、更なるごみ減量と3Rを推進する。	
事業の概要	
ささゆり見学及び講座を実施して住民にごみ処理の現状を知ってもらい、ごみの分別・減量化及びリサイクルを推進する。	
事業の実績	
令和3年度	工作教室 22名参加
令和2年度	工作教室 18名参加
令和元年度	工作教室 30名参加
平成30年度	清掃工場の見学及び工作教室 20名参加
平成29年度	清掃工場の見学及び工作教室 20名参加
平成28年度	清掃工場の見学及び工作教室 39名参加
平成27年度	清掃工場の見学及び工作教室 42名参加
事業の成果指標	事業の目標値
	単位
	R03 年度末
	R04 年度末
	R05 年度末
R03年度の到達目標(課題・改善策等)	
見学と身近なリサイクル品で体験講座を行うことで、ごみの減量と3Rを推進していく。	

事務事業評価の結果（1 次）	B	R03 年度の計画額	0 千円
事務事業評価の結果（2 次）	B	R03 年度の上限額	0 千円
<特記事項> ささゆりクリーンパークから講師を招いて、小学生とその保護者に対し、環境教育、ガラス細工の工作を実施。今後もごみ処理についての理解を深めてもらうため継続的に実施			

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 ー 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 3 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	10010000	水道環境課・環境係		
大事業 C D	02	(目標)		—				中事業 C D	15	(施策)		—			
		(政策)		—						(主要な取り組み)		—			
小事業 C D	01	環境負荷低減事業					事業年度	R03 ~ R12	成果目標	☐ 成果目標がある		成果指標	—		
款項目	04	衛生費	01	保健衛生費	06	環境衛生総務費	小事業区分	新規・継続		☒ 成果目標がない		目標値	—		目標年度

(単位：千円)

	R O 3 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(02年度) 当初予算額	31年度 決算額
○ 経 費 計	0	今まで、グリーンカーテン啓発事業として、住民にゴーヤ苗を配布していたが、グリーンカーテン啓発事業を廃止し、その代わりとなる事業を検討する。	92	70
1 報酬				
2 〜4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費			92	70
1 消耗品費			92	70
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費				
12 委託料				
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交				
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	0	基準額・補助率・歳入科目コード等	92	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源			92	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）			
【★ 7次総 4205】（廃棄物対策）「環境の負荷の低減に向けた取り組み」			
庁内の物品購入にあたって、グリーン購入（エコ商品の購入）を推進する。また、施設の整備や改修にあたっては、環境への負荷の低減に配慮した整備を行うなど公共施設へのクリーンエネルギーの導入を検討する。緑のカーテンを推進することにより、節電とCO2削減の意識を高める。			
事業の概要		消耗品等の購入時にグリーン購入を推進する。予算作成時にグリーン購入（エコ商品の購入）を推進して、庁内での消耗品等の購入に反映させるようPRする。住民に苗を配布して緑のカーテンを設置してもらい、節電とCO2削減を推進する。	
事業の実績		令和元年度 ゴーヤの苗配布（125本）、ゴーヤの種配布（300組） 平成30年度 ゴーヤの種配布（300組） 平成29年度 ゴーヤの苗配布（1,000本） 平成28年度 ゴーヤの苗配布（1,000本）	
事業の成果指標		事業の目標値	
		単 位	
		R03 年度末	
		R04 年度末	
		R05 年度末	
R03 年度の到達目標（課題・改善策等）			
令和2年度に、グリーンカーテン啓発を中止し、令和3年度以降、苗、種等の購入を行わない。今後、別の方法を検討する。			

事務事業評価の結果（1 次）	B	R03 年度の計画額	0	千円
事務事業評価の結果（2 次）	B	R03 年度の上限額	0	千円
<特記事項> ゴーヤの種配布については令和2年度から事業廃止、現在は代替え事業を検討中				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 ー 評価なし

会計区分		01		一般会計				令和 3 年 度 事 務 事 業 調 書										事業主体		10010000		水道環境課・環境係			
大事業 C D		02		(目標)		-				中事業 C D		16		(施策)		-									
				(政策)				(主要な取り組み)																	
小事業 C D		01		公害対策経費				事業年度		R03 ～ R12		成果目標		■ 成果目標がある □ 成果目標がない		成果指標		公害苦情受付件数							
款項目		04		衛生費		01		保健衛生費		08						公害対策費		小事業区分		新規・継続		目標値		3	

		(単位：千円)	
	R O 3年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(02年度) 当初予算額
○ 経費 計	656	年2回、木曽川支流の河川8箇所の水質検査を委託にて実施する	623
1 報酬		。	
2 〜4給料手当等		公害発生時又は疑いの生じた時は、水質、騒音、振動、悪臭等の監視・測定を実施するとともに、事業所への立入調査や指導を行う。	
5 災害補償費			
7 報償費			
8 旅費		油流出事故に備え、オイル吸着材を購入する。	
9 交際費			
10 需用費	40		
1 消耗品費	40		
2 燃料費			
3 食糧費			
4 印刷製本費			
5 光熱水費			
6 修繕料			
その他			
11 役務費			
12 委託料	611		618
13 使賃料			
14 工事請負費			
15 原材料費			
16 公財購			
17 備品購入費			
18 負補交	5		5
19 扶助費			
20 貸付金			
21 補てん賠			
22 償利割			
23 投資出資金			
24 積立金			
25 寄附金			
26 公課費			
27 繰出金			

○ 財源 計	656	基準額・補助率・歳入科目コード等	623	
1 国庫支出金				
2 県支出金	34		44	
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	622		579	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）		
【★7次総 4206】（廃棄物対策）「公害調査の実施」		
公害の防止に向けた取り組みを進め、坂祝町で暮らす住民、事業活動を行う企業、行政などが相互に協力し合って、地域の住み良い環境の維持に向けて意識を高める。		
事業の概要		
河川の水質検査を実施し、水質の改善を図る。 広報や回覧を通じて野焼き等の注意喚起を行う。 水質、騒音、振動、悪臭などの監視・測定を実施するとともに、事業所への立入調査や指導を行い公害の未然防止に努める。		
事業の実績		
令和3年度実績（実績） 河川の水質基準超過数：0箇所 / 令和3年度目標：0箇所） 河川の水質検査 8ヶ所 2回 井戸水の検査 0回		
令和2年度実績（実績） 河川の水質基準超過数：0箇所 / 令和2年度目標：0箇所） 河川の水質検査 8ヶ所 2回 井戸水の検査 0回		
事業の成果指標		事業の目標値
公害に関する苦情の受付件数	単位	件/年度
	R03 年度末	6
	R04 年度末	6
	R05 年度末	6
R03年度の到達目標(課題・改善策等)		
定期的に環境の調査等を行い、地域の住み良い環境の維持を図る。		

事務事業評価の結果（１次）	B	R03年度の計画額	0千円
事務事業評価の結果（２次）	B	R03年度の上限額	0千円

＜特記事項＞
 公害苦情受付件数が65件と多くなっているが、今後も広報誌等を活用した啓発活動を行いながら意識啓発を行いたい。
 また、定期的な水質検査等も実施し、悪質な事例については、事業所への立入調査や指導を実施する。

【評価】 A拡充・重点化 B計画の承認 C見直し・縮小 D整理・統合 E休止・廃止 ー評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 3 年 度 事 務 事 業 調 書						事業主体	10010000	水道環境課・環境係		
大事業 C D	02	(目標)		—			中事業 C D	17	(施策)		—			
		(政策)		—					(主要な取り組み)		—			
小事業 C D	01	畜犬登録経費				事業年度	R03 ~ R12	成果目標	☐ 成果目標がある		成果指標	—		
款項目	04	衛生費	01	保健衛生費	06	環境衛生総務費	小事業区分		新規・継続	☒ 成果目標がない		目標値	—	目標年度

(単位：千円)

	R 0 3 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(02年度) 当初予算額	31年度 決算額
○ 経 費 計	170	飼い犬の登録の手続きを行うとともに、犬の飼育が適切にされるよう啓発・指導を行う。 4月に狂犬病集合予防注射を実施するとともに、狂犬病予防注射が適切に接種されるよう啓発・指導を行う。	169	194
1 報酬				
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費	40		39	38
1 消耗品費	40		39	38
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費	53		53	79
12 委託料	77		77	77
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交				
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	170	基準額・補助率・歳入科目コード等	169	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財	170		169	
5 一般財源				

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）			
【★ 7次総 4207】（廃棄物対策）「家庭や地域における環境マナーの定着」 ペットの飼い方についてマナーの向上。狂犬病予防注射の接種率の向上を図る。			
事業の概要 飼い犬の登録、狂犬病予防注射を実施する。 看板、回覧等で狂犬病予防注射接種や飼いかたのマナー向上の啓発を実施する。			
事業の実績 令和3年度 狂犬病予防注射実施 391匹 ※年度末登録頭数449匹 令和2年度 狂犬病予防注射実施 401匹 ※年度末登録頭数452匹 令和元年度 狂犬病予防注射実施 403匹 ※年度末登録頭数448匹 平成30年度 狂犬病予防注射実施 421匹 ※年度末登録頭数482匹 平成29年度 狂犬病予防注射実施 432匹 ※年度末登録頭数493匹 平成28年度 狂犬病予防注射実施 425匹 ※年度末登録頭数507匹 平成27年度 狂犬病予防注射実施 415匹 ※年度末登録頭数522匹			
事業の成果指標		事業の目標値	
		単位	
		R03 年度末	
		R04 年度末	
		R05 年度末	
R03年度の到達目標(課題・改善策等) ペットの飼い方についてマナーの向上。狂犬病予防注射の接種率の向上を図る。			

事務事業評価の結果(1次)	—	R03年度の計画額	0 千円
事務事業評価の結果(2次)	—	R03年度の上限額	0 千円
<特記事項> ペットの飼い方のマナー向上のため広報によるPRを年1回実施、狂犬病予防法に基づき、飼い犬登録や狂犬病予防注射接種を実施。 野良猫への餌付け等による糞尿、鳴き声等の苦情が多発しているため、今後も飼い方についてのPRを続けていきたい。			
【評価】 A拡充・重点化 B計画の承認 C見直し・縮小 D整理・統合 E休止・廃止 一評価なし			

会計区分	01	一般会計		令和 3 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	10010000	水道環境課・環境係		
大 事 業 C D	02	(目標)		—				中事業 C D	17	(施策)		—			
		(政策)		—						(主要な取り組み)		—			
小 事 業 C D	02	不法投棄防止事業					事業年度	R03 ~ R12	成果目標	☐ 成果目標がある		成果指標	—		
款 項 目	04	衛生費	02	清掃費	02	ごみ処理費	小事業区分	新規・継続		☒ 成果目標がない		目標値	—		目標年度

(単位：千円)

	R O 3 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(02年度) 当初予算額	31年度 決算額
○ 経 費 計	1,901	町内を巡回パトロールし、不法投棄多発場所への看板の設置、不法投棄ごみを早期回収する等の作業を、町シルバー人材センターに委託する。	1,880	1,712
1 報酬				
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費		また、広報誌や回覧、看板設置などを通じて、住民・不法投棄者に啓発・警告していくとともに、警察と連携し不法投棄者の特定する。		
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費	177		156	136
1 消耗品費	17			16
2 燃料費	160		156	120
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費				
12 委託料	1,724		1,724	1,576
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交				
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	1,901	基準額・補助率・歳入科目コード等	1,880	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	1,901		1,880	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）			
【★7次総 4207】（廃棄物対策）「家庭や地域における環境マナーの定着」			
幹線道路沿いなどでは、空き缶やペットボトルなどのごみのポイ捨てが依然としてみられる。また、ごみ収集所などへのごみの放置やごみの不法投棄なども後を絶たない。ごみのない清潔できれいなまちづくりのためには、良好な環境づくりに関する意識啓発を、全町民に向けて行っていく。			
事業の概要			
町内を巡回パトロールし、不法投棄ごみを早期回収する。広報誌や回覧、看板設置などを通じて、住民・不法投棄者に啓発・警告していく。不法投棄多発場所に看板を設置するとともに、警察と連携し不法投棄者の特定する。			
事業の実績			
不法投棄巡回パトロールを週3回実施することで、不法投棄の早期発見、良好な環境づくりに貢献している。			
事業の成果指標		事業の目標値	
		単位	
		R03 年度末	
		R04 年度末	
		R05 年度末	
R03 年度の到達目標（課題・改善策等）			
町内を巡回パトロールし、不法投棄ごみを早期回収する。広報誌や回覧、看板設置などを通じて、住民・不法投棄者に啓発・警告していく。不法投棄多発場所に看板を設置するとともに、警察と連携し不法投棄者の特定する。			

事務事業評価の結果（1 次）	B	R03 年度の計画額	0 千円
事務事業評価の結果（2 次）	B	R03 年度の上限額	0 千円
<特記事項>			
R3年度においては、不法投棄されたゴミを9 t 回収した。今後は、衛生監視員とも連携を取りながら、原因者が特定できるものについては、直接指導を行い不適正排出を抑えていきたい。また、町内の不法投棄の巡回、回収及び運搬作業を委託し、町内を綺麗に保つことで、不法投棄を行いにくい環境を維持したい。			

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 一評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 3 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	10010000	水道環境課・環境係		
大 事 業 C D	02	(目標)		-				中事業 C D	18	(施策)		-			
		(政策)								(主要な取り組み)					
小 事 業 C D	02	可燃・不燃ごみ処理経費					事業年度	R03 ～ R12	成果目標	■ 成果目標がある		成果指標	可燃ごみ排出量		
款項目	04	衛生費	02	清掃費	02	ごみ処理費	小事業区分	新規・継続		□ 成果目標がない		目標値	385	目標年度	令和 2年度

(単位：千円)

	R O 3 年 度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(02 年度) 当初予算額	31年度 決算額
○ 経 費 計	77,969	ごみ(可燃ごみ・不燃ごみ・資源ごみ)収集袋、粗大ごみシールを作製するとともに、令和4年度からの有料化に備え、指定陶磁器類用ごみ袋を作製する。	81,521	76,709
1 報酬				
2 ～4給料手当等		ごみ収集袋・粗大ごみシールを町内外の店に委託して販売し、販売手数料を支出する。		
5 災害補償費		ごみ(可燃ごみ・不燃ごみ・資源ごみ・粗大ごみ)の収集運搬、陶磁器類の処理を、一般廃棄物収集運搬業者に委託して実施する。		
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費	4,345		3,850	2,939
1 消耗品費	4,345	より、ごみ分別を周知するため、アプリを活用し、それに係るアプリ使用料を支出する。	3,850	2,939
2 燃料費		ごみ(可燃ごみ・不燃ごみ・資源ごみ・粗大ごみ)を処理する可茂衛生事務組合の運営に対する負担金を支出するとともに、陶磁器類の最終処分地である伊賀市に負担金を支出する。		
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料 その他				
11 役務費	812	【主要施策 4208】	818	804
12 委託料	21,506	ゴミの減量化施策として、家庭廃棄物処理機器設置補助金をPRし、補助件数は増加しているが、新型コロナウイルス感染症対策による資源集団回収の実績が下がっているため、R2年度から20g排出量が増加したと思われる。今後は、新型コロナウイルスの状況を注視しながら、休止団体への呼びかけを行い、資源回収の回収率を上げつつ、坂祝町一般廃棄物処理基本計画に基づきプラスチック類の回収も検討し、リサイクル可能な資源物回収促進を推進し、ごみの減量化を進めたい。	26,171	20,024
13 使賃料	424		163	77
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交	50,882		50,519	52,865
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	77,969	基準額・補助率・歳入科目コード等	81,521	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財	14,510		13,943	
5 一般財源	63,459		67,578	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）			
【★7次総 4208】（廃棄物対策）「地域における清掃活動の促進」			
可茂衛生事務組合の運営に対する負担金を支出するなど可燃・不燃ごみ等の一般廃棄物の適正な処理を図る。			
事業の概要			
町内で発生する一般廃棄物の処理に関する経費（可茂衛生負担金及びごみ袋作成、運搬委託料等）を支出する。			
事業の実績			
令和3年度	可茂衛生施設利用組合負担金	50,637千円	
令和2年度	可茂衛生施設利用組合負担金	50,280千円	
令和元年度	可茂衛生施設利用組合負担金	52,805千円	
平成30年度	可茂衛生施設利用組合負担金	49,141千円	
平成29年度	可茂衛生施設利用組合負担金	61,016千円	
平成28年度	可茂衛生施設利用組合負担金	59,168千円	
平成27年度	可茂衛生施設利用組合負担金	63,578千円	
事業の成果指標		事業の目標値	
1人あたりの1日の生活系可燃ごみ排出量		単位	g/日
		R03 年度末	425
		R04 年度末	420
		R05 年度末	415
R03 年度の到達目標(課題・改善策等)			
可茂衛生事務組合の運営に対する負担金を支出するなど可燃・不燃ごみ等の一般廃棄物の適正な処理を図る。			

事務事業評価の結果(1次)	—	R03年度の計画額	0 千円
事務事業評価の結果(2次)	—	R03年度の上限額	0 千円
<特記事項>			

【評価】 A拡充・重点化 B計画の承認 C見直し・縮小 D整理・統合 E休止・廃止 —評価なし

会計区分	01	一般会計	令和 3 年度 事務事業調書						事業主体	10010000	水道環境課・環境係					
大事業 C D	51	(目標)	—						中事業 C D	37	(施策)	—				
		(政策)	—								(主要な取り組み)	—				
小事業 C D	20	不法投棄ごみ処理経費					事業年度	R03 ~ R12		成果目標	☐ 成果目標がある		成果指標	—		
款項目	04	衛生費	02	清掃費	02	ごみ処理費	小事業区分	新規・継続			☒ 成果目標がない		目標値	—	目標年度	—

(単位：千円)									
	R O 3 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等					前年度(02 年度) 当初予算額	31年度 決算額	
○ 経 費 計	176						176	33	
1 報酬									
2 〜4給料手当等									
5 災害補償費									
7 報償費									
8 旅費									
9 交際費									
10 需用費									
1 消耗品費									
2 燃料費									
3 食糧費									
4 印刷製本費									
5 光熱水費									
6 修繕料									
その他									
11 役務費	76						76	17	
12 委託料	100						100	16	
13 使賃料									
14 工事請負費									
15 原材料費									
16 公財購									
17 備品購入費									
18 負補交									
19 扶助費									
20 貸付金									
21 補てん賠									
22 償利割									
23 投資出資金									
24 積立金									
25 寄附金									
26 公課費									
27 繰出金									

○ 財 源 計	176	基準額・補助率・歳入科目コード等	176	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	176		176	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）			
不法投棄されたごみの処理により、ごみの無い清潔なまちへの推進する。			
事業の概要			
不法投棄されたりサイクル家電及び自動車部品等の処理経費を支出する。			
事業の実績			
令和 3 年度 家電4品目7台 令和 2 年度 家電4品目20台 令和元年度 家電4品目5台 平成30年度 家電4品目6台 平成29年度 家電4品目11台 平成28年度 家電4品目12台 平成27年度 家電4品目11台			
事業の成果指標		事業の目標値	
		単位	
		R03 年度末	
		R04 年度末	
		R05 年度末	
R03 年度の到達目標（課題・改善策等）			
不法投棄されたごみの処理により、ごみの無い清潔なまちへの推進する。			

事務事業評価の結果（1 次）	B	R03 年度の計画額	0	千円
事務事業評価の結果（2 次）	B	R03 年度の上限額	0	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 ー 評価なし

